学校番号	1206

令和８年度　理科

教科	理科	科目	基礎からの理科	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	なし						
副教材等	自校作成プリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・毎回の授業プリントは評価の一部とします。授業プリントの空欄補充を行うだけでなく、
　自分で気づいた授業のポイントなどをまとめると加点します。
・プリントの内容を問うクイズを頻回実施します。クイズへの参加も評価対象とします。
　積極的に参加するようにしましょう。
・定期テストは授業中に取り組んだ確認問題の内容を中心に出題します。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・中学校で習う理科を基盤とした基礎的な科学的概念や原理・法則を理解する。
【思考力、判断力、表現力等】
・中学校で習う理科を基盤とした基礎的な実験を行い、結果・考察を口頭、論述など様々な
　方法で表現する。
【学びに向かう力、人間性等】
・中学校で習う理科を基盤とした科学的な考えを主体的に学ばせ、
　科学と人間生活とのかかわりについて認識を深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解している。 自然の事物・現象についての観察、実験の基本操作を習得している。 観察、実験の計画的な実施、結果の記録や整理、資料の活用の仕方を身に付けている。	自然の事物・現象の中に問題を見出し、見通しをもって観察、実験などを行うことができる。 観察、実験などの結果を分析して解釈するなど、科学的に探究する過程において思考・判断・表現ができている。	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりするなど、科学的に探究しようとしているかを、発言ができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	第1章	第1節　生命の維持 1　生命の維持に関わる人体の器官とその働き 2　消化･吸収のしくみ 3　血液循環	a:生命維持にかかわる器官の名前・位置・働きを理解できる。 b:唾液のデンプンを分解する性質を実験により考察できる。 c:人体の器官の位置を積極的に学ぼうとしている。	定期考査 クイズ 授業 プリント	定期考査 クイズ 授業 プリント	授業 プリント
	第2章	第1節　光 1　光の三原色 2　光の反射と屈折 第2節　音 1　振動 2　音の進む速度	a:　光の三原色および光の反射や屈折における入射角と反射角の定性的な関係を理解できる。 b:音の進む速度をもとに音源までの距離を判断できる。 c:実験を通して音は物体の振動によって生じる振動が空気中を伝わることを意欲的に学ぼうとしている。	定期考査 クイズ 授業 プリント	定期考査 クイズ 授業 プリント	授業 プリント
後期	第3章　気象	第1節　光 1　雲や霧の発生 2　前線通過と天気の変化 3　日本の天気の特徴	a:　日本周辺の各気団の位置関係を理解できる。 b:　雲の成因を説明することができる。 c:前線の通過によっておこる気象要素の変化を能動的に理解しようとしている。	定期考査 クイズ 授業 プリント	定期考査 クイズ 授業 プリント	授業 プリント
	第4章　粒子	第1節　粒子の存在 1　物質の分解 2　原子、分子 第2節　粒子の結合･保存性 1　化学変化 2　質量の保存 3　水溶液 4　状態変化	a:物質が原子や分子でできていることを理解できている。質量パーセント濃度を求めることができる。 b:　燃焼の実験を通して、質量保存の法則を見出すことができる。 c:元素記号を積極的に学ぼうとしている。	定期考査 クイズ 授業 プリント	定期考査 クイズ 授業 プリント	授業 プリント

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度